

ペレットストーブ  
取扱説明書  
A10 STYLE

**MORETTI**DESIGN  
— GRUPPO — FUTURE IS NOW

## お客様各位

この度は、当社のペレットストーブをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みください。据え付けや使用方法、メンテナンス、安全などに関する重要な注意事項、保障に関する条件などを記載しています。お読みにならずにお使いになった場合は、「不適切な使用方法」つまり「誤った使用方法」とみなされ、保障修理の対象にならない可能性があります。

## 目次

1. 据え付け・設置を行う方へ .....	2
2. ご使用方法—お客様へ .....	7
3. コントロールパネル .....	11
4. 日常のメンテナンス .....	16
5. エラー説明 .....	17
6. 保証条件と修理のご依頼 .....	19
7. 保証・サービスについて .....	21

# 1.据え付け・設置を行う方へ

## 説明と規定

- この取扱説明書の内容を注意してよくお読みください。本製品の据え付け・使用方法・メンテナンス・安全装置に関する重要な指示事項が記載されています。
- 本製品は、代理店が適切と判断した環境と、該当する現行の法規制に沿った環境にのみ据え付け及び使用ができます。
- 本製品の据え付けと組み立ては、現行法に従った証明書を発行する資格がある技術者だけが行えます。
- 据え付け場所は、民間建築業に関する現行の法令や規制に従う必要があります。
- また、本体の据え付け・排気管・電気・水・給排気に関する全ての法令や規制に従う必要があります。
- メーカーは、誤った据え付け・違法な改造・本製品の誤った使用・不適切な使用・不十分なメンテナンス・現行法の不履行・不慣れな使用などに起因するあらゆる責任を回避することができます。

## 準備作業

- 梱包材を丁寧に外します。
- 梱包材は、お住まいの地域の決まりに従ってリサイクルしてください。
- 据え付けの前に、本製品の全部品を確認してください。疑問がある場合は使用せず、販売代理店へご連絡ください。

## ストーブの据え付け場所

- ストーブの据え付け場所について、次の点を必ずお守りください。
- ✓ 本体の重量を超える荷重に適した床材：現在の床材がこの条件を満たさない場合は、適切な処置を取る必要があります。(例:荷重が均一にかかる石板やプレートなどを敷く)
- ✓ 建物が火事になる恐れのない、熱の放射に適した使用の床材
- ✓ 本体を組み立てる際、ストーブ本体・排気管・煙突などの清掃がしやすいように注意してください。
- ✓ 引火しやすい物・可燃物からは離隔の距離をとって設置してください。(「安全な設置距離」を参照)
- ✓ 法令に従い、設置場所は常に風通しのよい場所をお選び下さい。

## 床材の保護

- ✓ 本体は、表面が断熱性でできている場所に設置してください。床が木材やカーペットなど引火の可能性がある材質の場合は、鉄板やセラミックなど耐熱性素材の台座を下記の寸法で事前に準備しておいてください。

前面の突出部>500mm

側面の突出部>300mm

背面の突出部>100mm

## 安全に使用するための距離

- 不燃物からの離隔距離  
前面>500mm 側面>100mm 背面>70mm 上部>1000mm  
引火性の物からの距離  
前面>1000mm 側面>200mm 背面>200mm 上部>1000mm
- ストープ上方に何かを設置されている場合、必ず最低1メートル以上離すこと

## 接続

- 本体を接続させる前に、ご購入の際に希望された商品と一致しているかを確認してください。
- 薪ストーブやペレットストーブなどのバイオマスによる暖房器具は全て、現行法に従って取り付けられた煙突に排煙されなければいけません。

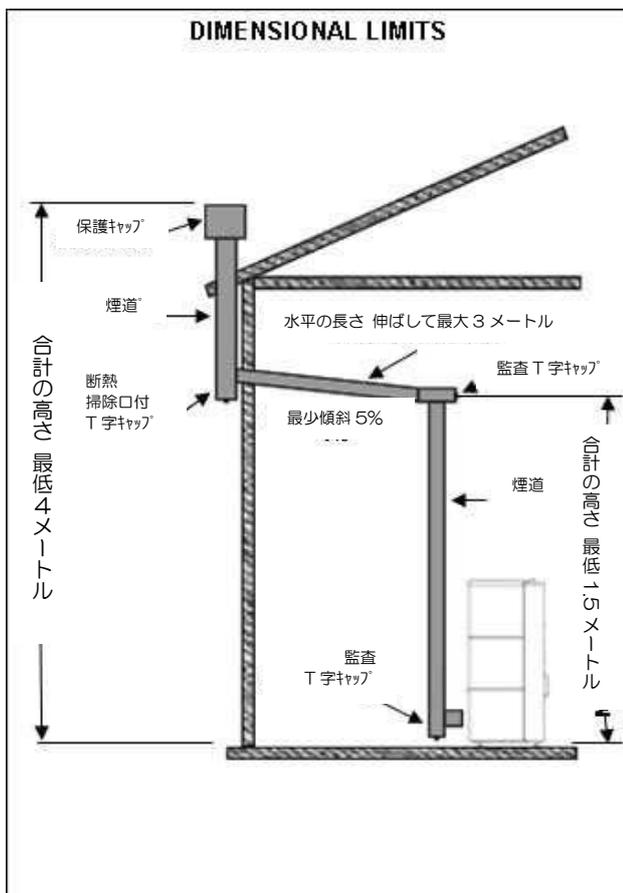
## 排気管

- 排気管は、次の必要条件を満たす必要があります
- ✓ 煙を漏らさず、使用条件の基準(UNI9615)に従い熱の絶縁体が使われていて、適切な距離を設けている。
- ✓ ストープから出る熱、排煙、結露などに対して耐久性のある材質で作られている。
- ✓ 出来るだけ垂直方向に排煙が上がるように配管し、配管の軸角度が変わるときは 45 度未満の角度変化で曲げるようにする。
- ✓ 可燃性や引火性のある物から適切な距離を置くこと
- ✓ 排気管内部の形状は円形であること。四角や長方形の場合は、半径が 20mm 以上の丸い角が必要である。
- ✓ 排気管内部空間は不動で障害物がなく、ほかの排気管と繋げたりしないようにする。(1つのストーブに対して1本の排気管を使用すること)
- ✓ 排気管の断面が長方形の場合は、長い方の1辺は短い方の1辺の 1.5 倍以下であること
- ✓ 排気管内は燃焼灰などで詰まりが出ないようにすること
- ✓ 排気管の一番下の部分に、排気管に溜まった灰や結露の水を取り除くために、簡単に開け閉めすることができ T 字型の窓付き排気管ジョイントを取り付けされることをお勧めします。
- ✓ 排気管から火災が発生した場合、炎を覆い消すために適切な手段(例:消火器、無水石膏又は炭酸ガスを使う)を用い、消防に通報する
- ✓ ストープを設置する際には、その後のストーブ本体と排気管がメンテナンス、掃除が簡単にしやすいように設置、取り付けすること。

## ストーブ本体と排気管の排煙のための接続(基準 UNI10683 も参照)

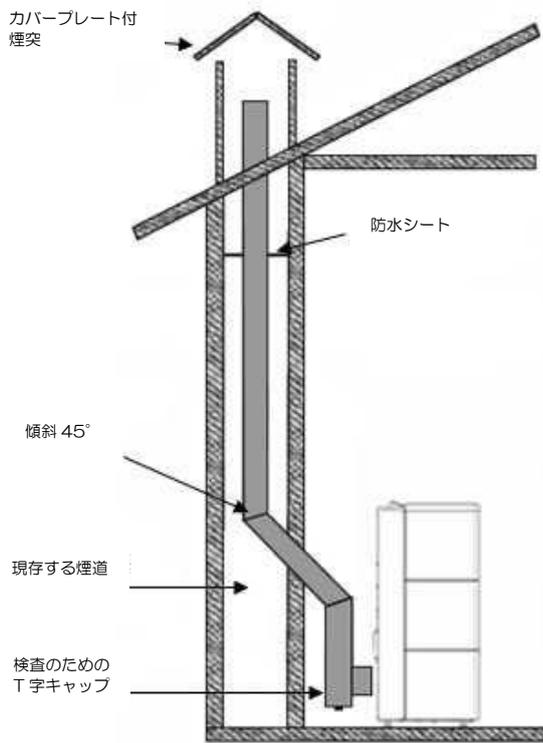
- 本体と排気管の接続は、ペレットストーブ 1 台分だけの排煙をさせることとなります。
- たとえ天井にかなりの空間があっても、閉鎖された空間に直接排煙することは禁じられています。
- 煙が直接排出される箇所は屋根の上と規定されていますが、周りの家に迷惑をかけない場所ならペレットストーブ後部排気口から 2m(規定)以上まで排気管が垂直方向に上がっていること
- 排気管を水平に設置する場所は、傾斜が 3%以上でなければいけません。
- ペレットストーブは強制排気ファンがついているので、排気管にはその排気の通風を妨げるようなマニュアル式の弁があってははいけません。
- 排気管は燃焼熱や燃焼灰、結露の水に耐えるものでないといけません。寒冷地で排気管が外部で組み立てられる場合は 2 重管でなければいけません。
- 排気管は常にメーカーが推奨する排気漏れ防止 Oリング付きの排気管をご使用ください。

## 排管設置例



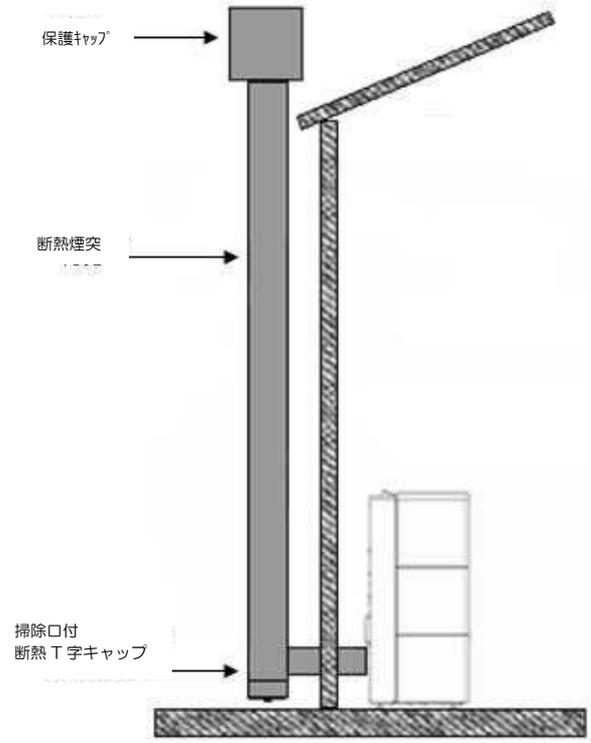
煙道の据え付け

適切



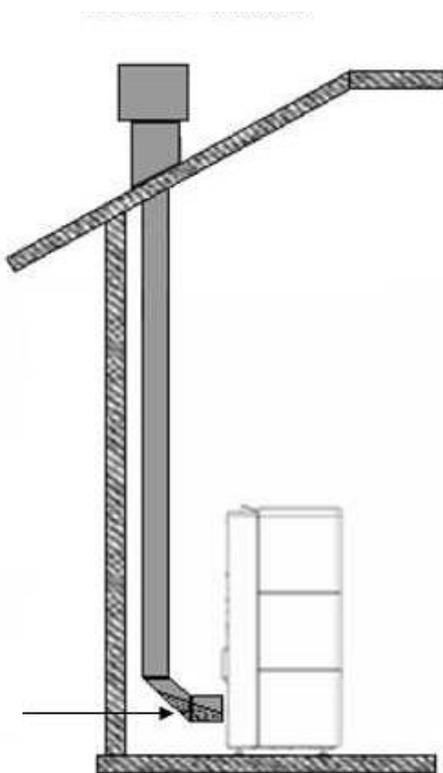
外部の煙道の場合

適切



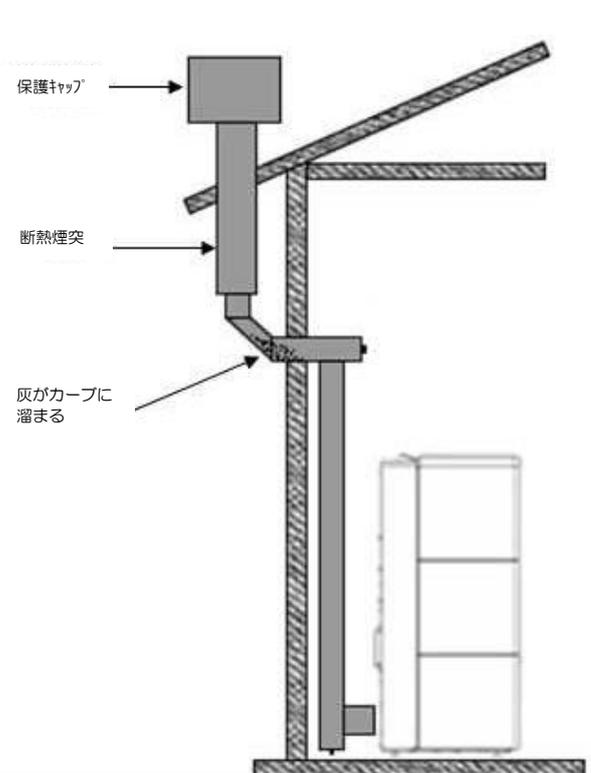
T字なしの煙突の場合

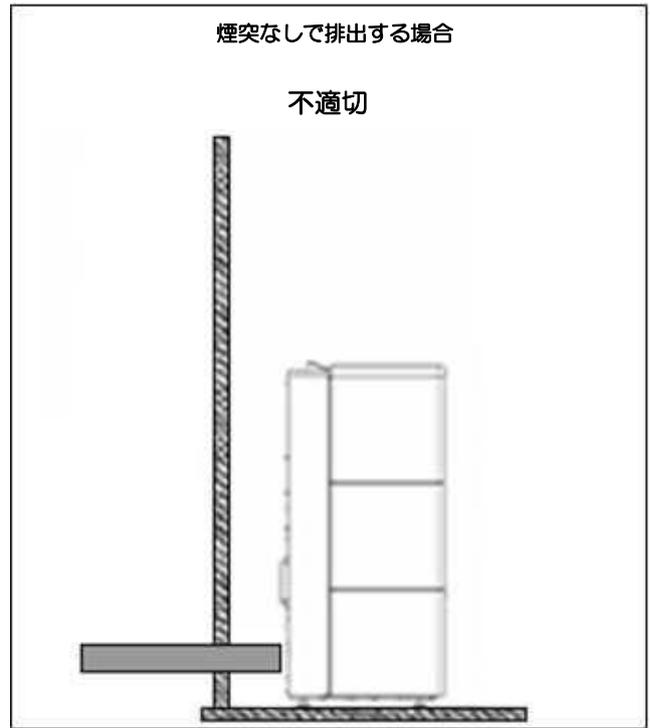
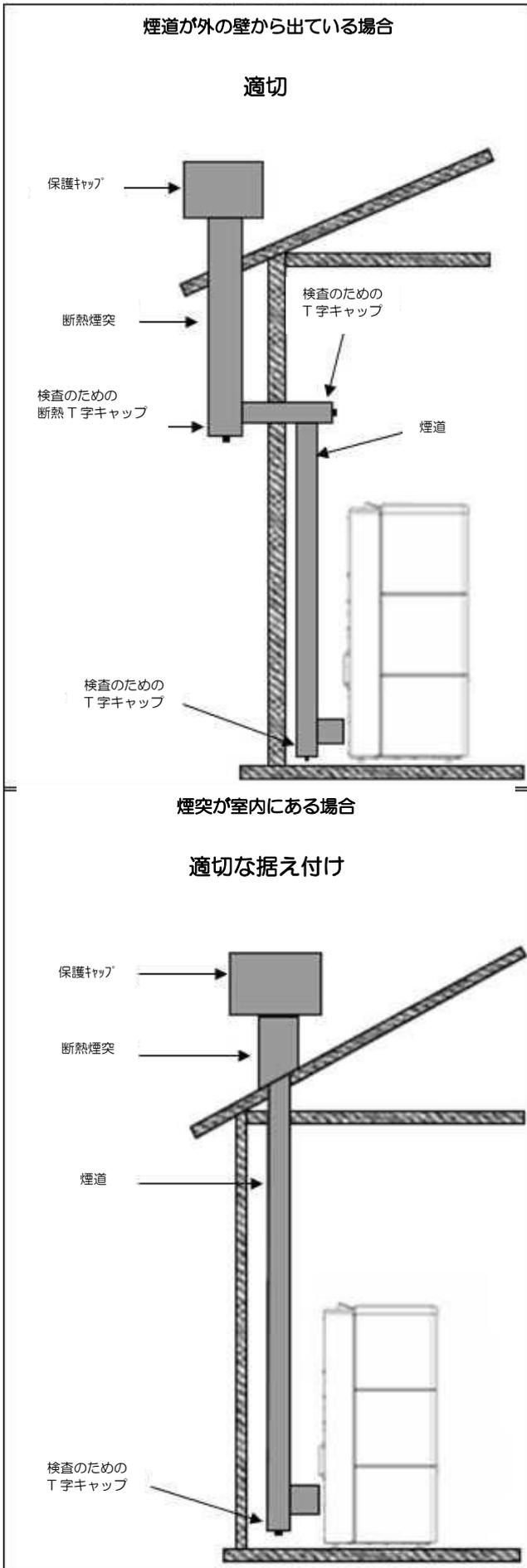
不適切



煙道が外の壁から出ている場合

不適切





**危険**

- 排気管は標準の規定にそって取り付けてください
- 鋼の管のみをご使用ください
- アルミニウムや合成材料は使わないでください
- 十分な空気供給を保證するため、燃焼用空気管は2m以下で、曲がったセクションは3つ以下にしてください
- もしゴミが建物の外に出るようなら、末端の部分は90度の角度で下へ曲げなければなりません。また、風から守らなければなりません
- 最少の吸い込む空気は10Paである必要があります

## 煙突への接続

- 排煙管の出口が煙突の中の空間を塞がないようにしながら、既存の暖炉の煙突にストーブ本体からの排煙管を接続します。
- 排煙を密閉できるパッキン付きの排煙管だけをご使用ください。
- 平行部分(長さ最大で2メートルまで)と湾曲部の取り付け使用はできるだけ制限してください。

排煙管を煙突の中にあまり深く差し込まないでください。

## 屋根の上に突き出た部分の煙突

- 屋根の上に出た煙突部分は、次の条件を満たす必要があります。
- ✓ 煙突内部断面は暖炉部分のものと同様のものであること
- ✓ 暖炉の中に雨・雪・関係のない物が落ちてこないように作られていること、また、どの方向から風が入っても確実に排煙できる屋根の勾配であること
- ✓ 煙がほどよく分散し希釈されるように設置されていて、反圧力の形成されやすい煙の流れる範囲の外にあるようにすること。その範囲は、屋根の勾配の角度に応じて異なる寸法と構造であること、そのため、(屋根は)適切な最低の高さに合わせる必要があります。

## 2. ご使用方法—お客様へ

### 重要な注意事項

- この部分の内容を注意してお読みください。使用方法、メンテナンス、製品の安全などに関する重要な注意事項が書いてあります。
- この取扱説明書の各内容をよく読み、十分にご理解ください。内容をよく読まず理解しないままご使用になると、本製品を「誤った方法で使用した」とみなされます。
- この取扱説明書は大切に保管し、必要な時はいつでもご利用できるようにしてください。取扱説明書は本製品の一部分ですので、所有者が変わる場合は必ず一緒にお渡しください。
- ここに明確に説明されている使用法でのみ本製品をお使いください。(ここに書かれていない)ほかの使用法は適切ではなく、危険な結果を招く可能性があります。
- 本製品を焼却炉として使用しないでください。
- 本製品は、内部も外部も、表面部分の温度が非常に高くなる箇所があり、そこにうっかり触れてしまう可能性がありますから、最大に注意を払ってください。
- 燃焼室ドアのガラス部分には絶対に触らないでください。やけどをする危険があります。
- 安全のため、(幼児を含む)ストーブの使用に不慣れな人、経験の乏しい人はお使いにならないでください。
- ストーブ全体で、熱くなる表面との熱交換が活発に行われますので、子供や障害のある方、ペットなどが直接触れないように十分注意する必要があります。
- 燃焼室ドアを開ける際は、やけどをしないためにこのストーブ用手袋などをお使いください。
- ストーブを正しくお使いになるには、必ず燃焼室ドアを閉めた状態にしてください。ドアが破損したり、ひび割れたりして異常が起きた場合、ストーブは使えません。または、問題が解決した後で、お使いください。
- 故障や運転の具合が悪くなった場合、電源を切り運転を停止してください。

- 修理や部品の交換が必要な場合、ライセンスを持った販売代理店にご依頼ください。純正部品との交換が必要です。
- 修理有資格者以外による本ストーブの分解・改良は禁止されています。
- 給気口や熱排出口を塞がないでください。
- 本ストーブを、何かの支えや、脚立の代わりに使用しないでください。
- 燃焼ポットの中にペレットを手で直接入れないでください。
- 木質ペレット以外の燃料をタンクの中に入れてください。
- 電化製品なので、濡れた手でストーブに触らないでください。
- 可燃物からは安全に十分な距離を離し、「設置方法」の説明に従って設置してください。

## 燃料

- 下図に示す質のペレット燃料をお使いください。

**良質の木質ペレット** -高級ペレットの特徴-

発熱能力	kWh/kg	4,8÷5.2
密度	Kg/m <sup>3</sup>	650
水分含有量	%	Max 8%(ペレット重量の)
灰の割合	%	Max 1%(ペレット重量の)
直径	Mm	5-6,5
長さ	mm	20-30
含有物(内容)		100%未加工木材

- 次のような固体燃料の使用は許可されていません。藁、トウモロコシ、果実等の芯部分、松かさ、上記に記載されているもの以外。品質が保証されたペレット燃料を販売代理店へご注文くださるようお願いいたします。(「高級ペレットの特徴」の表をご覧ください。)

## ペレットに関する知識

- ペレットは、製材所や木材加工所の間伐材・おが屑・かな屑・木屑などから作られます。このような原材料を粉砕・乾燥・圧縮し、接着材等を一切使用せずに燃料のペレットが作られます。

●

## ペレットの保存方法

- ペレット燃料は乾燥した清潔な場所で保管してください。ペレット燃料が湿ると完璧な燃焼を保証できません。

## 本体を作動させる

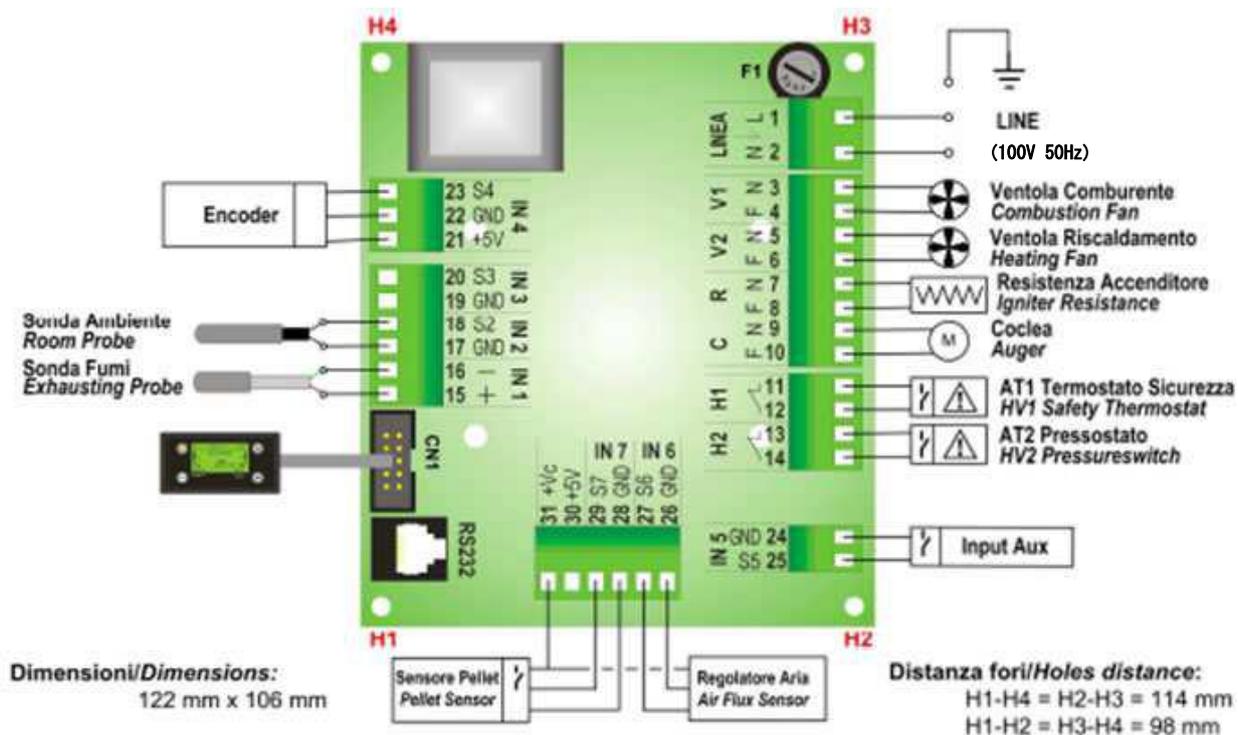
- 本体を作動させるには、まず組み立てと排気管の接続を完了させなければいけません。新品のストーブの場合は、最初の点火後、仕上げの塗料の臭いがするときがあるので、注意して次の手順に従ってください。
  - 一 運転開始の段階で、本体から不快と感じられる臭いを発生する可能性があります。この臭いを取り除くために、部屋の窓を開けて風を通してください。
  - 一 ストーブの塗料が完全に乾いたら、加熱の段階になります。

## 燃料の供給

- 燃料を補給する際は、十分に注意してください。ストーブの熱くなっている部分に、ペレットのビニール袋が触れないようにしてください。
- 袋の切れ端や異物が燃料タンクの中に入らないように、最大限の注意を払ってください。燃料タンクにペレット以外のものが入ると燃料供給スクリューに詰まり込み動かなくなる可能性があります。
- 上蓋を取り外したら、ペレットを高い位置から入れてください。ストーブが運転中の場合には、火傷をしないように手袋などをお使いください。燃料不足が原因でうっかり炎が消えてしまわないように、タンクの中のペレット残量を頻繁に点検することをお勧めします。タンクの蓋は燃料補給の時以外、常に閉まっている状態にしてください。

## 基本的な注意事項

- メンテナンス作業を行う前に、必ずストーブを消して室温に下がるまで放置してください。
- 後部の運転スイッチを消した後で、電源プラグを抜いて下さい。
- 運転中に急にストーブのプラグを抜いたり、後部の運転スイッチを押したりしないでください。このような操作は排煙モーターを含む全てのモーターを同時に停止させ、ストーブ内部の排煙を妨げることになり危険です。



PIN	機能	技術的特徴
1	N	メインパワー供給 100Vac +/- 10% 50/60Hz F1=ヒューズ T5.0A
2	L	
3	N	燃焼空気のファン トライアック調節器 最大 1A
4	L	
5	N	過熱ファン トライアック調節器 最大 1A
6	L	
7	N	点火抵抗 中継 最大 3A
8	L	
9	N	ペレットオージェモーター トライアック調節器 最大 1A
10	L	
11	安全サーモスタット入力 HV1	使用しない場合で繋げる際は、 装置の ON/OFF は標準的に閉じている
12		
13	安全スイッチ	使用しない場合で繋げる際は、 装置の ON/OFF は標準的に閉じている
14		
15	Red+	排出煙の温度検知 熱電対 最大 K:500°C
16	Green-	
17	室内検知	NTC 100K@25°C 最大 120°C
18		
19	予備検知	使われていません
20		
21	+5V	符号器信号 信号 TTL 0/5v
22	GND	
23	SEG	
24	予備入力:タイマー/室内 サーモスタット	装置 ON/OFF
25		
26	GND	初期調節器
27	SEG	
31	+V	
28	GND	
29	SEG	ペレット 装置 ON/OFF
31	+V	
CN1	コントロールパネルの接続子	平らなケーブル
RS23	接続子 RS232	プログラマー・モデム・コンピューターのつなぎ

### 3. コントロールパネル

P1	電源オン/オフ、ブロック解除(3秒長押し) 前画面に戻る
P2	メニューへ入る データを保存する 決定
P3	火力/パラメータ値を上げる
P4	火力/パラメータ値を下げる
L1	着火棒オン
L2	燃料供給オン
L3	加熱ファンオン
L11	サーモスタットをセットする段階にきました



このストーブは様々な機能が装備されており、個々のプログラムメニューにおいて利用可能です。メニューの一部には保護されたパスワードがあり、それは T.A.C のみアクセス可能となっています。

索引	メニュー
1	ROOM THERMOSTAT(室内温度設定)
2	CHRONO(タイマー)
3	ECO CLIMA(エコ運転)
4	CALIBRATION(調整)
5	TIME AND DATE(日付と時間)
6	REMOTE CONTROL(リモコン操作)
7	MANUAL LOAD(マニュアル燃料供給)
8	MONITOR(モニター)
9	LANGUAGE(言語)
10	KEYBOARD MENU(キーボードメニュー)
11	SYSTEM MENU(システムメニュー)

## 1. ROOM THERMOSTAT(室内温度設定)

このメニューでは、室内温度を設定します。

1:P2 ボタンを押してメニューへ入ります。



2:P2 ボタンを押して「Room Thermostat」へ入ります。



3:P3 または P4 ボタンを押して数値を変更し、P2 ボタンを押して変更を確定します。その後、P1 ボタンを押してメニューへ戻ります。

## 2. CHRONO(タイマー)

このメニューでは、ストーブのタイマーを設定します。

1:P2 のボタンを押してメニューを開き、P3 または P4 のボタンを押して「Chrono」を選択します。



2:P2 ボタンを押してメニューへ入ります。



3:タイマーを有効か無効か選択します。P2 ボタンを押してメニューを進みます。そして、タイマーを有効

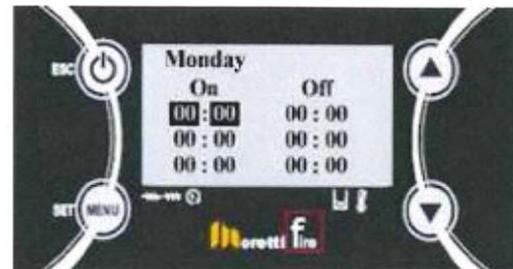
(Enable)にするか無効(Disable)にするか選択し、P2 ボタンを押して変更を確定します。



4:P3 または P4 ボタンを押してタイマープログラムを選択し、P2 ボタンで先へ進みます。

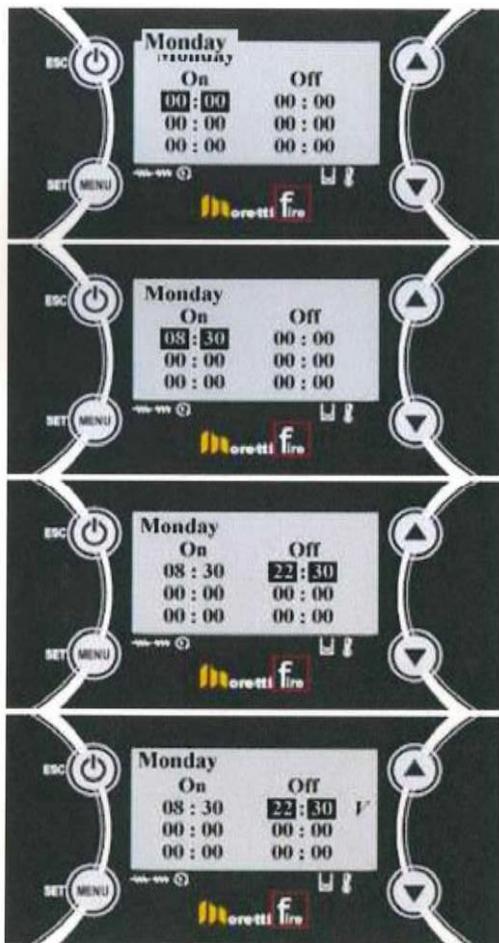


5:P3 または P4 ボタンを押して曜日を選択し、P2 ボタンを押して時刻を変更します。



6:曜日ごとに3パターンのタイマーを設定できます。1つめの点火タイマーをセットするために P2 ボタンを押し、P3 または P4 ボタンを押して時間を変え、P2 ボタンを押して変更を確定させます。その後、P4 ボタンを押して消火タイマーの時間設定へと移動します。P2 ボタンを押し、P3 または P4 ボタンを押して時間を変更し、P2 ボタンを押して変更を確定させます。点火/消火の設定が完了し、3 秒以上 P2 ボタンを押すとタイマーが有効になります。

選択した時間の右にチェックマークが現れます。タイマーを無効にするためには、時間枠を選択し、チェックマークが消えるまで3秒程P2ボタンを長押しして下さい。



7:他の曜日や他の時間枠を組むためには、4から6を繰り返し行います。

NOTE:真夜中中もストーブを稼働させておくためには、切る時間を23:59に設定し、そして着火の時間を00:00に設定する必要があります。

### 3.ECO CLIMA(エコ運転)

このメニューでは、室内温度設定にあわせた自動着火、自動消火の機能の有効/無効を設定します。

1:P2のボタンを押しメニューを開き、P3またはP4を押して「Eco Clima」を選択します。



2:P2ボタンを押してメニューに入り、エコ運転を有効(Enable)にするか無効(Disable)にするかを選択し、P2のボタンを押して設定を確定させます。



### 4. CALIBRATION(調整)

このメニューでは、ペレットの種類と排気管の形状にあわせた燃焼を調整します。

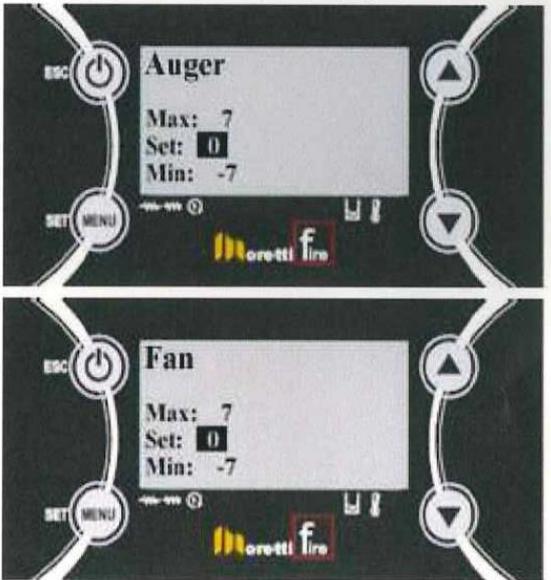
1:P2ボタンを押しメニューを開き、P3またはP4ボタンを押して「Calibration」を選択します。



2:P2を押してメニューを進み、P3またはP4ボタンを押して「Auger」・「Fan」を選択します。



3:P2 を押して選択したメニューに入り、P3 または P4 ボタンで数値を変更し、P2 ボタンを押して変更を確定します。画面には以下のように表示されます。最大+7 から最少-7 まで設定することができます。



Auger の数値を上げることにより、ペレットの投与量を増やすことができ、逆に数値を下げれば投与量を減らすことができます。Fan 数値を高くすることにより、ファンのスピードが上がリ、燃焼空気が増えます。ファンの数値を下げることによりファンのスピードが下がり、それによって燃焼空気が減ります。

もしストーブを切った後に、灰の堆積物があり、燃焼空気が遮られての燃焼となる場合は、以下のようにして目盛を操作することができます。

A)Auger を-1 に設定することにより、ペレットの投与量を減らすことができます

B)ファンを 1 に設定することにより、ファンのスピードが増加し、燃焼空気を増やすことができます。

C)A と B の動作を同時に実行することにより調整ができます。

NOTE:数値を変更する際に示されている数は、初期数値に従った百分率での値です。これらの値は、異なったペレットの使用によって不完全燃焼が生じた場合に変更しなければなりません。

## 5. TIME AND DATE(日付と時間)

このメニューでは、日付と時間を変更します。

1:P2 ボタンを押してメニューへ入り、P3 または P4 ボタンを押して「Time and Date」を選択します。



2:P2 ボタンを押してメニューを進み、P3 または P4 ボタンを押して変更する数値を選択し、P2 ボタンを押します。その後、P3 または P4 ボタンで数値を変更し、P2 ボタンを押して確定します。



## 6. REMOTE CONTROL(リモコン操作)

このメニューでは、リモコン使用の有効/無効を設定します。

1:P2 ボタンを押してメニューへ入り、P3 または P4 ボタンを押して「Remote Control」を選択します。

2:P2 ボタンを押してメニューを進み、P3 または P4 ボタンを押して Enable(有効)か Disable(無効)かを選択し、P2 ボタンを押して変更を確定します。



## 7. MANUAL LOAD(マニュアル読み込み)

このメニューでは、強制的に燃料供給のスクリュウを回転させ、ペレットを燃焼ポットへ運びます。空のスクリュウにペレットを充填する時などに使用します。

この機能はストーブが完全に消火されたオフの状態の時のみ使用でき、エラーなどで停止している場合は使用できません。

- 1:P2 ボタンを押してメニューに入り、P3 または P4 で「Manual Load」を選択します。
- 2:P2 ボタンを押してメニューを進み、P3 または P4 で「ON」を選択し、P2 を押すとスクリュウが回転します。「OFF」を選択し P2 ボタンを押すと回転が止まります。



NOTE: 作業が終わったら、点火の前に燃焼ポットのペレットを空にして、掃除をして下さい。

## 8. MONITOR(モニター)

このメニューでは、ストーブの全ての運転数値を確認することができます。数値を変更することはできません。

- 1:P2 ボタンを押してメニューへ入り、P3 または P4 ボタンを押して「Monitor」を選択します。P2 ボタンを押してメニューを進んでください。



- Exhaust Temp.(排気ガスの温度)
- Room Temp.(室内温度)
- Air Flux(空気の流れ)
- Exhaust Fan(排気ファンの回転数)
- Code Product(製品コード)

## 9. LANGUAGE(言語)

このメニューでは、表示言語を変えることができます。

- 1:P2 ボタンを押してメニューを開き、P3 または P4 を押して LANGUAGE メニューを選択します。
- 2:P3 または P4 ボタンを押して言語を選択し、設定を確定します。

## 10. KEYBOARD MENU(キーボードメニュー)

このメニューで、画面のコントラスト明るさを調整します。

- 1:P2 ボタンを押してメニューへ入り、P3 または P4 を押して「Keyboard Menu」を選択します。
- 2:P2 ボタンを押してメニューを進み、P3 または P4 を押して変更したいメニューを選択します。
- 3:P2 ボタンを押して数値を修正して、P3 または P4 を押して数値を変更してください。そして、P2 ボタンを押して確定させます。

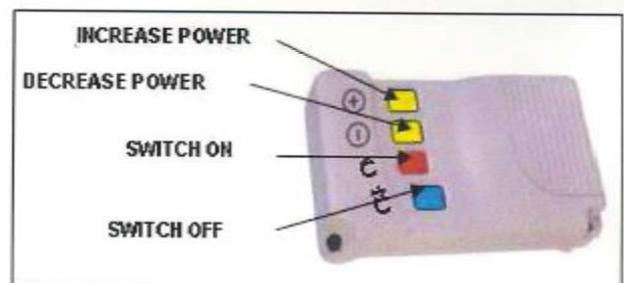
## 11. SYSTEM MENU(システムメニュー)

このメニューは技術者専用ページのため、保護されたパスワードがあります。

### Remote SYTX

このシステムは、10m の距離から操作盤へ信号を送り、リモコン操作をすることができる機能です。SYTX リモコンには 4 つのボタンがあり、以下のことができます。

- ストーブの電源オン/オフ
- ストーブの出力の変更



- INCREASE POWER: パワー増加
- DECREASE POWER: パワー減少
- SWITCH ON: スイッチオン
- SWITCH OFF: スイッチオフ

## 4. 日常のメンテナンス

- ペレットストーブの清掃とメンテナンスの頻度は、使用するペレットのタイプとその使用量によって異なります。湿ったペレット燃料、灰、燃えかす、木くずや化学添加物などは、メンテナンスをする必要がある回数が増えることにつながります。そのため、弊社が推薦する本製品に適した木質ペレット燃料をご使用くださるよう、もう一度お願い申し上げます。

### ● 燃焼ポットの清掃

ペレットストーブを最良の条件でご使用いただくためには、毎日燃焼ポットを丁寧に清掃する必要があります。燃焼ポットを引き出し、ペレットの燃えかすを捨て(燃えかすがまだ熱い可能性もあるので、十分注意してください。)燃焼ポットの底の空気穴を綺麗に掃除してから、元の位置へ確実に戻してください。

### 灰受け皿の清掃

- 灰受け皿は燃焼室の下の方にあり、取り出すときは燃焼ドアを開けます。
- 灰受け皿を外に取り出します。
- 灰受け皿に溜まった燃料の燃え残りを毎日取り除いて下さい。この作業は、ストーブが完全に冷えた時に行います。まだ熱い燃えかすに十分注意して作業してください。
- 灰受け皿を元の位置に戻し、燃焼室ドアを閉めます。運転の際、皿が正しく元の位置に戻っていないと、危険が生じる可能性があります。

### 燃焼室の毎日の清掃

- 空気口が灰やペレットくずで塞がれないように、燃焼室を常に点検する必要があります。燃焼室はペレットストーブ専用掃除機を使って簡単に内部を掃除することができます。燃焼ポットに付着した汚れは、道具を使って取り除いてください。
- 燃焼ポットを取り出した後、点火ヒーターの中に堆積物がある場合は取り除いてください。燃焼ポットを元に戻す時、ポットの側面にある大きい穴が点火ヒーターに合うように確認してから入れてください。

## 5. エラー説明

エラー	説明	原因	操作	それでも直らない場合…
ER01	サーモスタットの安全装置が働きました。スイッチを切ってください	加熱ファンの故障	ブロック解除し、ファンの機能が正常であるか確かめてください	もしファンが故障した場合は、指定の専門家へ連絡をお願いします  エラーが出続ける場合は、指定の専門家へ連絡をお願いします
		サーモスタットの故障	ブロック解除して再度つけてみてください。それでもすぐにエラーがでるようなら、サーモスタットが壊れています	
		コントロールユニットの故障	サーモスタットをリセットし、もしサーモスタットが動かないなら、おそらくコントロールユニットが壊れているかもしれません	
		温度の上昇	ブロック解除しストーブをつけてください。もし再度エラーが出たらスイッチを切ってください	
ER02	排気管が塞がっています。スイッチを切ってください	排気管の煙道が塞がっている	排気管の煙道を掃除する必要があるなら、ブロック解除をしてから掃除をして下さい	指定の専門家へ連絡をお願いします
		排気管の煙道においての原因	ブロック解除をし、調整による煙を落ち着かせる必要があるかどうかを確認してください	
		操作パネルの故障	ブロック解除をし、それでもエラーが出るようなら、操作パネルが壊れているかもしれません	
		コントロールユニットの故障	ブロック解除をし、その後すぐに再度エラーが出るなら、おそらくコントロールユニットが破損しているかもしれません	
ER03	排気温度が低いです。スイッチを切ってください	ペレットタンクが空	ブロック解除をし、再度読み込みをしてください	燃料タンクを補充してください
		オージェが塞がれている	ブロック解除をし、バーナーを掃除して、再度点火してください	バーナーの中にペレットがなければ、指定の専門家へ連絡をお願いします
		オージェのエンジンの故障	ブロック解除をし、バーナーを掃除して、再度点火してください	
		排気ガスの温度感知が壊れています	ブロック解除をし、バーナーを掃除して、再度点火してください	指定の専門家へ連絡をお願いします
ER05	排気温度が高いです。スイッチを切ってください	排気ガスの温度計が壊れています	もし停止段階でも煙の温度が高い場合は、温度計が壊れています	指定の専門家へ連絡をお願いします
		ストーブが汚れている	ブロック解除をし、ストーブを切ってください。もしエラーが再度出たら、おそらくストーブを掃除する必要があります	
		耐震装置が作	耐震装置が故障	

	動しました(本体が揺れを感知しました)	しています	もしエラーが再度出たら、配線が抜けていないか、本体が傾いていないかを確認してください	
ER07	符号器からの信号がありません。スイッチを切ってください	コントロールユニットが回転速度計の排気ガスファンからの信号を受け取らない	ブロック解除をし、ストープを付けて、もし再度エラーが出るようなら、排気ガスファンかコントロールユニットが壊れています	指定の専門家へ連絡をお願いします
ER08	符号器の設定がありません。スイッチを切ってください	コントロールユニットが排気ガスファンのRPM(分速回転数)数値の調整が失敗している	ブロック解除をし、ストープをつけて、もし再度エラーが出るようなら、その時は排気ガスファンかコントロールユニットが壊れています	指定の専門家へ連絡をお願いします
ER11	時計エラー	コントロールユニットに問題があります	コントロールユニットに問題があります	指定の専門家へ連絡をお願いします
ER12	点火失敗	ペレットのタンクが空です	ブロック解除をし、バーナーを掃除して、再度読み込み・点火してください	燃焼タンクを補充してください
ER12	点火失敗	点火ヒーターが壊れています	ブロック解除をし、バーナーを掃除してから再度点火してください。もしその後の点火が成功しなかったら、その時は点火ヒーターを取り換えてください	指定の専門家へ連絡をお願いします
		バーナーが汚れています	ブロック解除をし、バーナーを掃除して、再度点火してください	バーナーを掃除してください
SOND	例外調査	調査に問題があります	ブロック解除をし、バーナーを掃除して、再度点火してください	指定の専門家へ連絡をお願いします

## 6. 保証条件と修理のご依頼

- 本ペレットストーブの保証期間は、保証書ページに記載されている日付から 1年間になります。
- リンカルジャパンによる保証は日本国内の全地域が対象であり、本ペレットストーブの製造部品および欠陥品であると認められた部品の交換費用全額も含まれます。ただし、ガラスや通常お使いいただく消耗品は除きます。

### 保証条件

- 本製品設置から1ヶ月以内に保証書の写しを弊社住所まで郵送またはFAXにてお送り下さい。そして、お持ちの保証書を販売店にお見せください。前述条件が欠けている場合、保証はできかねます。
- お客様(購入者)が購入にあたり契約の支払方法を規定通りに行い、いかなる理由においても支払いの遅延がない場合。
- 製品異常が製造工程での欠陥によるものであり、誤った使用方法やメンテナンスの不足によるものではないことが明らかである場合。

### 保証対象外

- 設置時に保証書の送付が行われていない場合。保証書を所持されていない場合。また、記載された字句に書き替え、書き加えがある場合。
- 本取扱説明書の規準に記載されている設置基準と一致していない。または、製品仕様一覧にある排気管サイズと違うものを使用したことが原因で起きた不具合の場合。
- 本ストーブが使用されている部屋の中で異常な環境の原因があるとき。または、大気・気候・化学・電気化学的要因による被害・損害があるとき。
- 弊社登録販売代理店以外による設置・無許可の改造・不適当な使用などによって生じた運転の不具合があるとき。
- 湿気を含んでいる燃料等、適さない燃料の使用、取扱説明書に指示されている燃料と異なる燃料を使用したとき。
- 本体の清掃、日常のお手入れ(灰の掃除)
- ガラス部分および通常の使用で消費される部品
- 落として生じた際の故障や、当社に責任のない運搬による損害。**設置する前の荷受けの段階で、本ストーブに故障等ないことを確認してください。**
- セラミック部分の色の違いや細かな寸法のわずかな誤差は、その材質の自然な特徴なので、保証請求の理由にはなりません。

リンカルジャパンは、取扱説明書に記載されている指示全てに十分に従わない場合や、誤った設置方法、本体の不正な改良、不適切な使い方、不十分なメンテナンス、乱暴な使い方、現行の規制や法令の違反などの理由で、直接的または間接的に人・物・動物に被害をもたらした場合は、その責任を負いません。弊社は取扱説明書にある本ストーブ設備の特徴を、予告なしに手直しをする権利を留保します。この取扱説明書に説明されている部品や付属品は量産品ではないため、部品代等の費用はご購入販売店にお問い合わせください。

保証に含まれる修理をご依頼される際は、保証書を提示の上ご購入先の販売店へご連絡下さい。

**本製品設置から1ヶ月以内に本紙の写しを弊社住所まで郵送またはFAXにてお送り下さい。**

期間内の送付が確認できない場合は保証の対象外となりますので、ご理解の程お願いいたします。



## 7. 保証・サービスについて

1. 保証書は、内容をご確認の上保存してください。
2. 保証期間中に正常な使用方法で、万が一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき[無償修理]いたしますので、お求めの販売店にお見せください。
3. 修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みの上、なお異常のあるときは(保証期間中の場合は保証書をお示しの上)、販売店にお申し出ください。

◆修理を依頼される場合は、保証書に記載されている販売店へ下記の項目をできるだけ詳しくご連絡ください。

尚、(2)～(4)については保証書をご覧ください。

- (1)故障状況
- (2)機種名
- (3)製造番号
- (4)設置年月日

お問い合わせおよび MORETTI ペレットストーブのご注文は下記へご連絡ください。

販売店様名

住所

電話番号

e-mail アドレス

総輸入販売元  株式会社 **三菱** **材料**

〒515-0104 三重県松阪市高須町 3460-125

TEL : 0598-51-3308 FAX : 0598-51-3307

HP : <http://www.lincarjapan.com> MAIL : [lincarjapan@lagoon.ocn.ne.jp](mailto:lincarjapan@lagoon.ocn.ne.jp)

[memo]

販売代理店

総輸入販売元



〒515-0104 三重県松阪市高須町 3460-125  
TEL : 0598-51-3308 FAX : 0598-51-3307  
HP : <http://www.lincarjapan.com>  
MAIL : [lincarjapan@lagoon.ocn.ne.jp](mailto:lincarjapan@lagoon.ocn.ne.jp)

製造元



FACTORY - HEADQUARTER  
C.da Tesino,51 San Salvatore  
63065 RIPATRANSONE(AP) Marche Italy  
TEL : +39 0735.90444 FAX : +39 0735.907452  
[info@moretticamini.it](mailto:info@moretticamini.it)